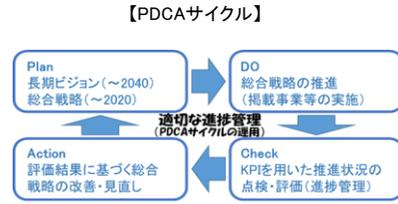
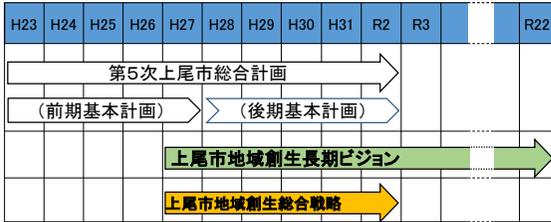


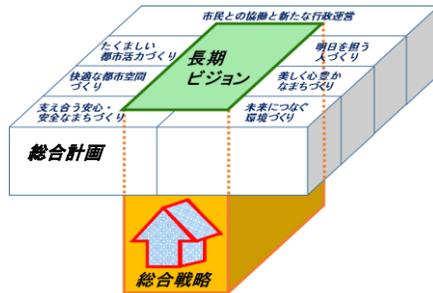
5.スケジュールと進捗管理

- 第5次上尾市総合計画との整合を踏まえ、長期ビジョンは令和22(2040)年までの25年間、総合戦略は令和2(2020)年までの6年間を対象期間とします。
- 総合戦略の推進・目標の達成に向け、数値目標や重要業績評価指標(KPI)を用いて進捗を測り、その評価を踏まえ、必要に応じ戦略の改善や見直しを行います(PDCAサイクルの運用)。
- 総合戦略の進捗管理は、全庁体制で施策を総合的かつ計画的に推進するとともに、効果の検証においては、外部委員で構成する「上尾市地域創生総合戦略審議会」の意見を聴取することにより、客観性、透明性を確保します。



6.参考(総合計画との関係)

- 長期ビジョンや総合戦略は、中長期的な視点で目指すまちづくりを示す、市政運営の最上位計画である上尾市総合計画との整合性を確保します。
- 総合戦略では、総合計画の中で中長期的に目指す各般の取組みのうち、特に人口減少の緩和に貢献するものや、計画期間中に特に短期集中的に取り組むことが有効と考えられるものに絞ってとりまとめています。



人口減少の緩和には、市民・事業者・団体等の皆さんが、上尾市に愛着をもち、さまざまな取組に積極的に参加・協力いただくことが不可欠です。どうぞ宜しくお願いします。



上尾市地域創生長期ビジョン 上尾市地域創生総合戦略

上尾市行政経営部行政経営課
〒362-8501 上尾市本町三丁目1番1号
電話048-775-3963 FAX 048-776-8873

上尾市地域創生長期ビジョン・ 上尾市地域創生総合戦略 [概要版]

令和2年3月改訂

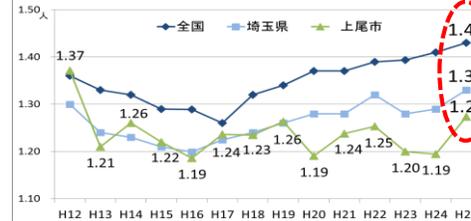
1.策定の背景

- 少子化に伴う人口減少は全国的な課題となっており、これに対応するため、国は平成26年12月に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。
- 本市においてもこれまで増加してきた人口は、令和22(2040)年には、約19.6万人(平成26年に比べ3.2万人減少)になると見込まれています。少子高齢化も急速に進んでおり、平成2(1990)年には1人の高齢世代を11人の現役世代で支えていましたが、令和22(2040)年にはわずか1.6人で支えることになり、高齢化率も34.3%に上昇することが予測されています。
- これを受け本市では、人口の現状と将来の展望を示す「上尾市地域創生長期ビジョン」及びこれを踏まえた人口減少対策として今後特に注力していくべき施策等を示す「上尾市地域創生総合戦略」を策定しました。

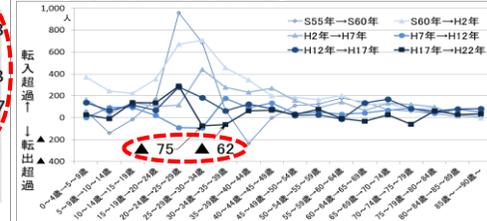
2.人口減少の主な要因

- 合計特殊出生率(一人の女性が一生の間に産む子どもの数の平均値)が低い。*
合計特殊出生率(H25): 全国1.43、埼玉県1.33、上尾市1.27
*人口が増加も減少もしない均衡した状態となる合計特殊出生率2.07より低い
 - 出生数に影響する20歳代後半から40歳代前半の転出超過が他の年代に比べ多い。
純移動数(H17→H22):20代後半の女性▲75人、30代前半女性▲62人、40代前半の男性▲47人
- 少子化を止める(出生率の改善)
- 総合戦略では
- 子育て世代の転出を防ぐ(定住促進)

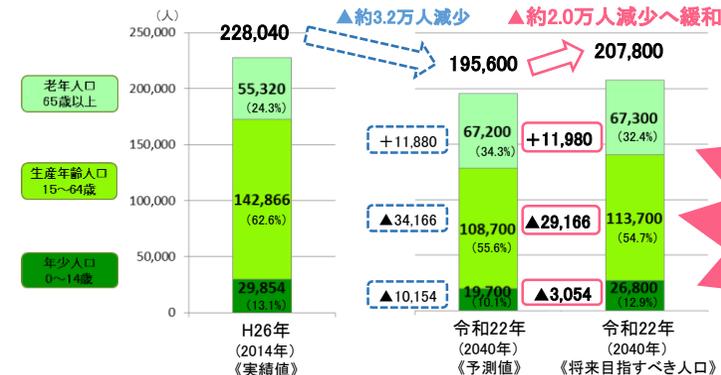
【合計特殊出生率】



【年齢階層別純移動数(女性)】



3.将来目指すべき人口



総合戦略を実施し、人口を約1.2万人引き上げ

4.上尾市地域創生長期ビジョン・上尾市地域創生総合戦略の全体像

- ☞ 少子化に伴う人口減少を緩和し、令和22(2040)年の予測する人口を約19.6万人から約20.8万人に引き上げるため、3つの基本目標に沿って様々な取組を進めます。
- ☞ 客観的に検証できる数値目標及び重要業績評価指標(KPI=Key Performance Indicators)を設定し、進捗状況を可視化します。

